



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

会社説明会および 2016年11月期 決算説明会資料

2017年2月13日



目 次



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

2

1. 大阪有機化学工業株式会社の事業概要
2. 2016年11月期 決算概要
3. 2017年11月期 業績予想
4. 資本政策
5. CSR活動
6. 中長期経営計画 Next Stage 10



1. 大阪有機化学工業株式会社の事業概要

沿革



1946 (昭和21年) 当社設立「カナダバルサム」・「ツエーデル油」の製造販売開始

1949 (昭和24年) 「酢酸エステル」製造販売開始

1953 (昭和28年) 日本で初めて「**アクリル酸**」の製造販売開始

1961 (昭和36年) 大阪工場(現 大阪事業所)開設

1969 (昭和44年) 神港有機化学工業株式会社(連結子会社)を設立

1970 (昭和45年) 「**特殊アクリル酸エステル**」の製造販売開始

1981 (昭和56年) 金沢工場開設

1983 (昭和58年) 「**化粧品(頭髮用)材料及び電子材料**」の製造販売開始

1986 (昭和61年) 「**医薬中間原料**」の製造販売開始

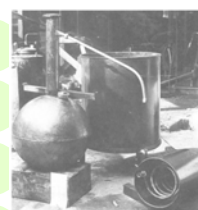
1987 (昭和62年) 大阪証券取引所市場二部に上場

2000 (平成12年) 酒田工場開設

2005 (平成17年) 東京証券取引所市場第二部に上場

2011 (平成23年) 東京証券取引所市場第一部に指定

2014 (平成26年) 光碩(上海)化工貿易有限公司(連結子会社)を設立

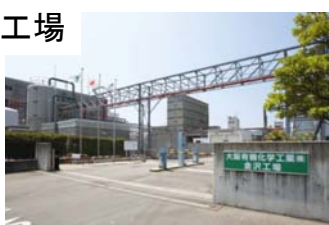




酒田工場



金沢工場



● 事業所 ● 工場 ● グループ



光碩 (上海) 化工貿易有限公司

神港有機化学工業株式会社



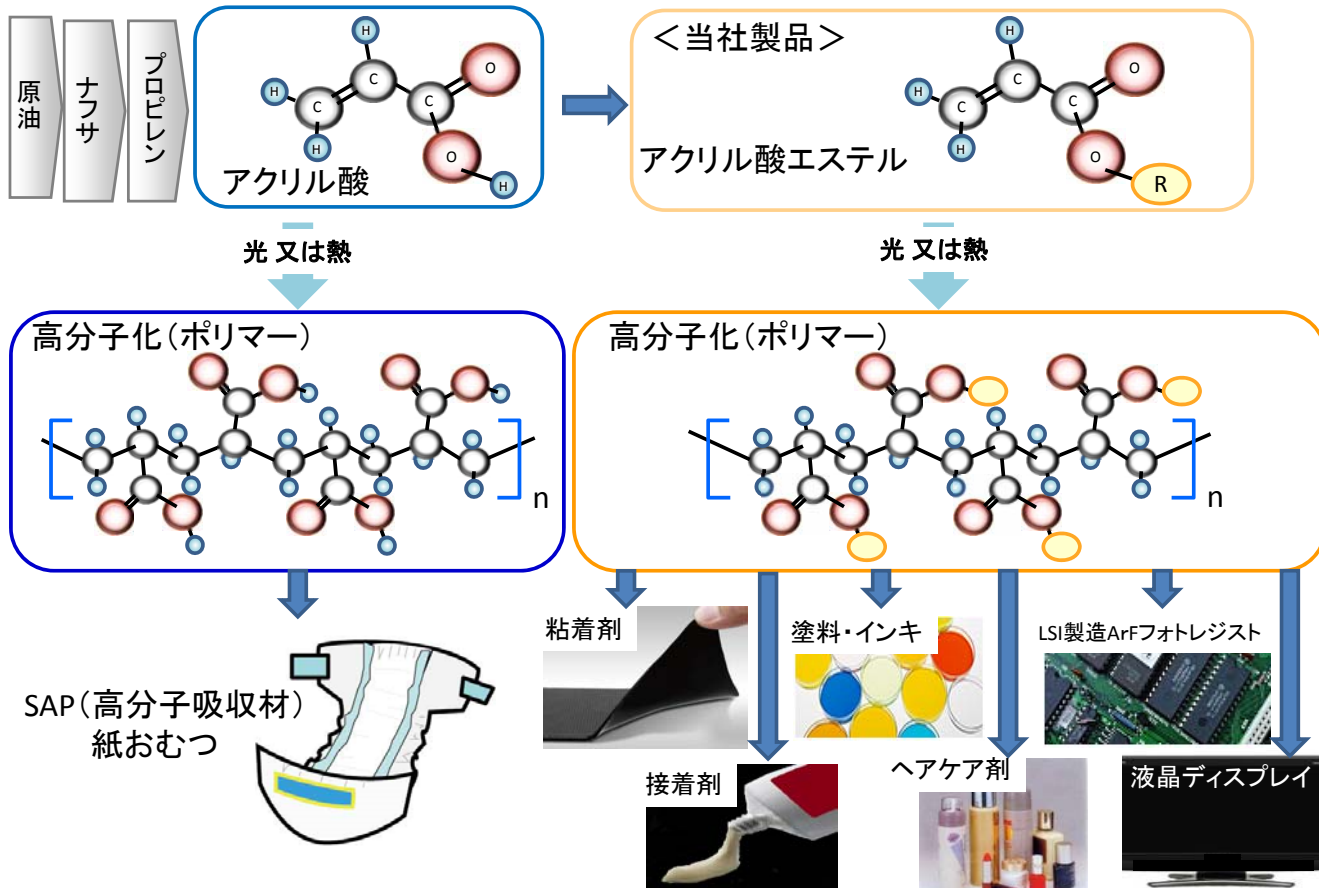
八千代事業所

東京オフィス

本社

大阪事業所

身近な製品に利用されるアクリル酸エステル



化成品事業



自動車塗料
一般塗料



ディスプレイフィルム



インキ・粘接着剤

電子材料事業

カラーフィルター

液晶スペーサーレジスト



半導体



タッチパネル材料

機能化学品事業



化粧品原料



機能性材料

当社のニッチ・高シェア製品

製品群	シェア	用途
特殊アクリル酸エステル (IBXA、4-HBA等)	高シェア	 自動車用塗料  各種塗料  粘接着材
高精細PS剤	高シェア	 液晶TV  スマートフォン  タブレット
ArFフォトリソ用 アクリル酸エステル	トップシェア	 LSI

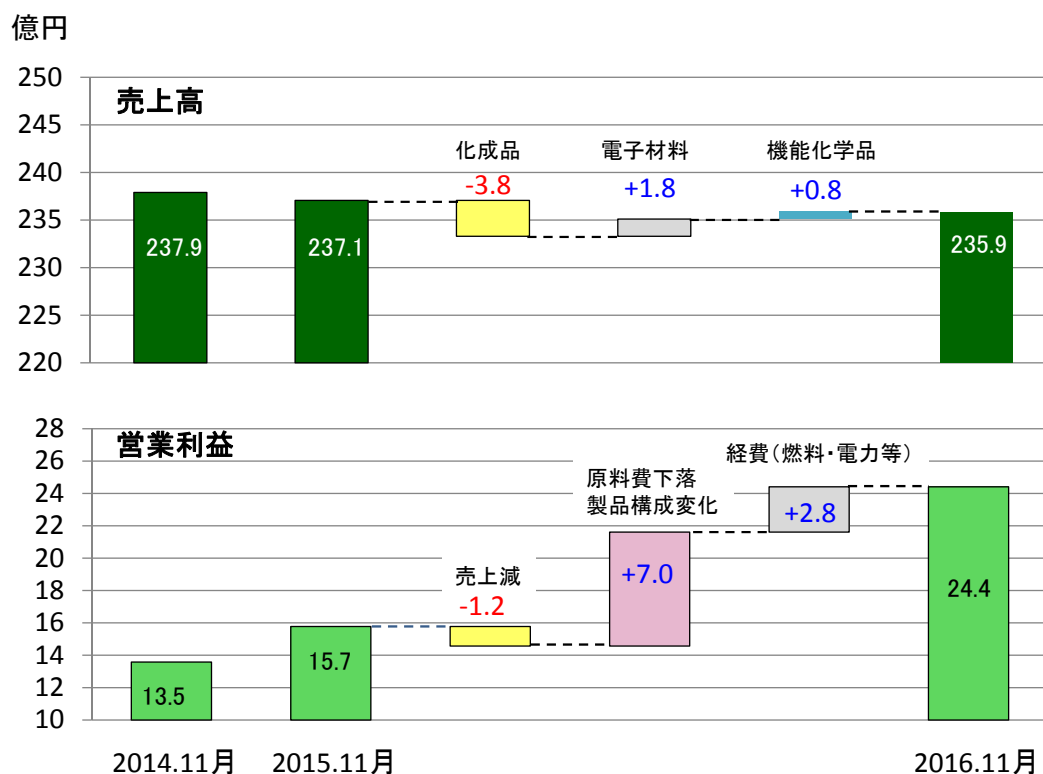


2. 2016年11月期 決算概要

2016年11月期 決算概要



	2015/11	2016/11	増減	前年比
売上高(百万円)	23, 707	23, 586	-121	99%
営業利益(百万円)	1, 578	2, 441	+863	155%
経常利益(百万円)	1, 751	2, 596	+845	148%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1, 300	2, 044	+744	157%
純資産(百万円)	25, 851	26, 972	+1, 121	104%
自己資本比率	76. 7%	74. 6%	—	—
一株当たり純利益(円銭)	56. 81	91. 07	—	—



(金額単位: 百万円)

		2015/11		2016/11		増減	前年比
			(構成比率)		(構成比率)		
売上高		23,707		23,586		-121	99%
	化成品事業	10,732	45%	10,353	44%	-379	96
	電子材料事業	7,574	32	7,754	33	+180	102
	機能化学品事業	5,400	23	5,477	23	+77	101
営業利益		1,574		2,457		+883	156
	化成品事業	339	22%	657	27%	+318	194
	電子材料事業	1,071	68	1,297	53	+226	121
	機能化学品事業	163	10	502	20	+339	308

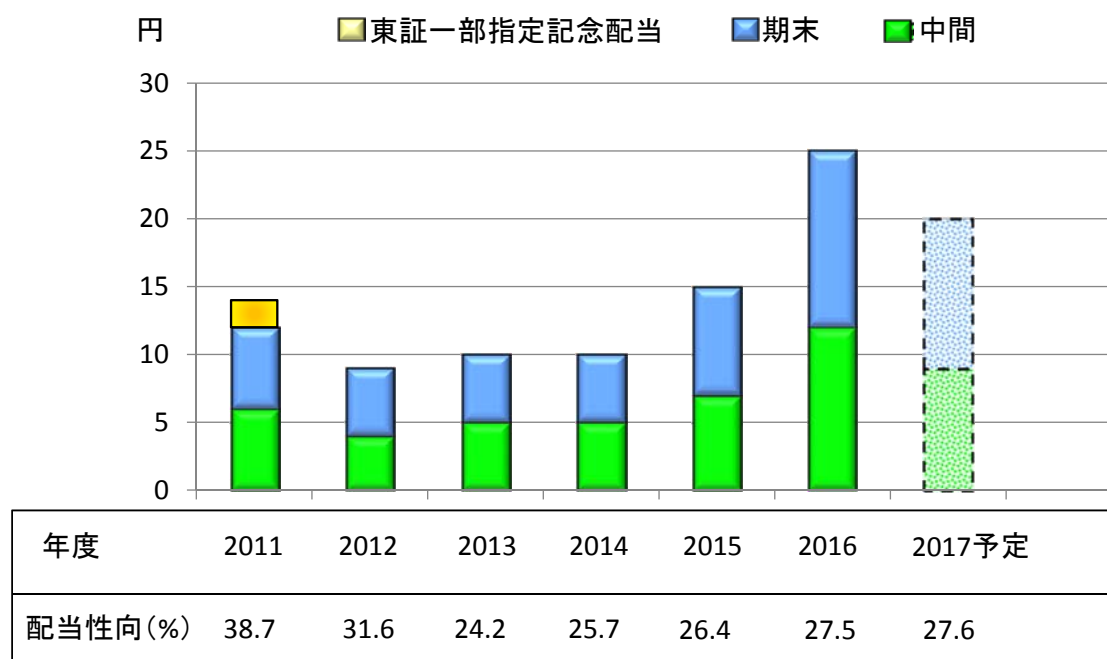
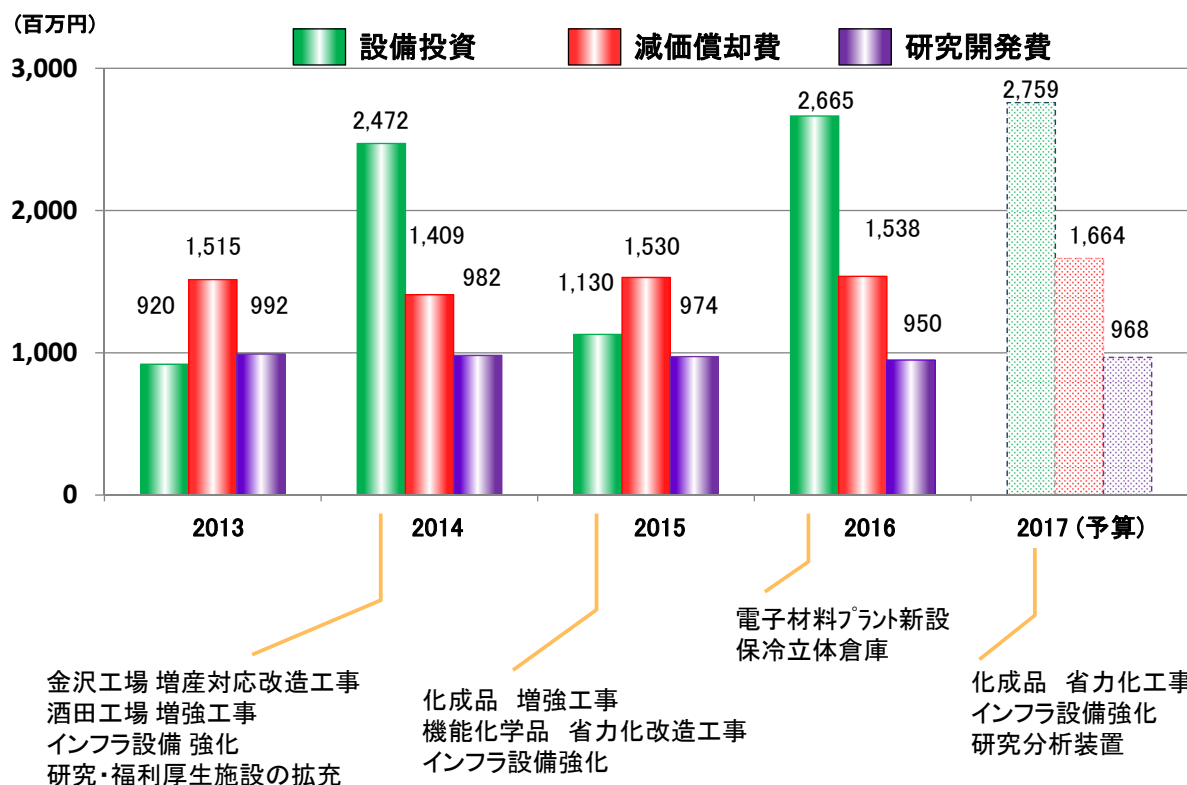


3. 2017年11月期 業績予想

2017年11月期 業績と経営指標予想



	2016/11	2017/11	前年増減	前年比
売上高(百万円)	23, 586	24, 294	+708	103%
営業利益(百万円)	2, 441	2, 166	-275	89%
経常利益(百万円)	2, 596	2, 334	-262	90%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2, 044	1, 621	-423	79%
純資産(百万円)	26, 972	27, 489	+517	102%
売上高営業利益率(%)	10. 4	8. 9	-1. 5	—
ROE(%)	7. 8	6. 0	-1. 8	—
一株当たり純利益(円銭)	91. 07	72. 37	-18. 7	—
自己資本比率(%)	74. 6	73. 2	-1. 4	—





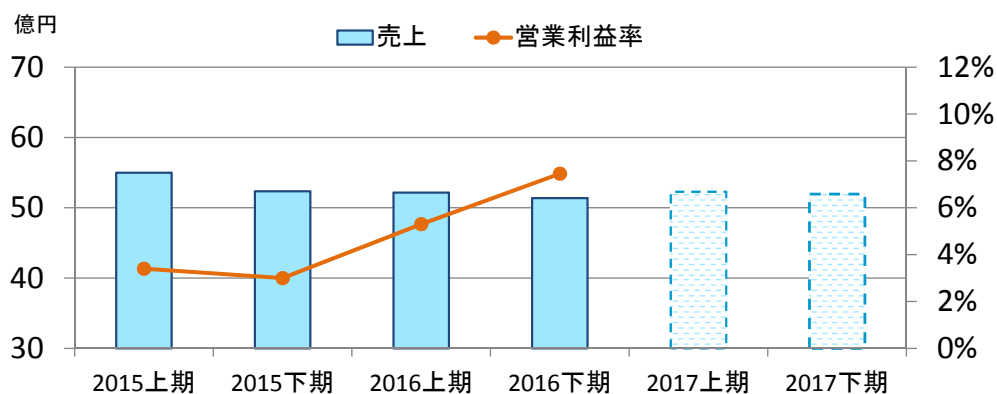
事業方針

安定基盤事業

事業展開

・収益性アップ	製品の選択と集中 優位性のある製品(4-HBA,IBXA等)の拡販
・海外拡販の強化	光碩上海法人とアメリカ駐在員との連携による拡販
・高付加価値製品の上市	特殊インク用原料(UVインクジェット等)の拡販に注力

実績・予想



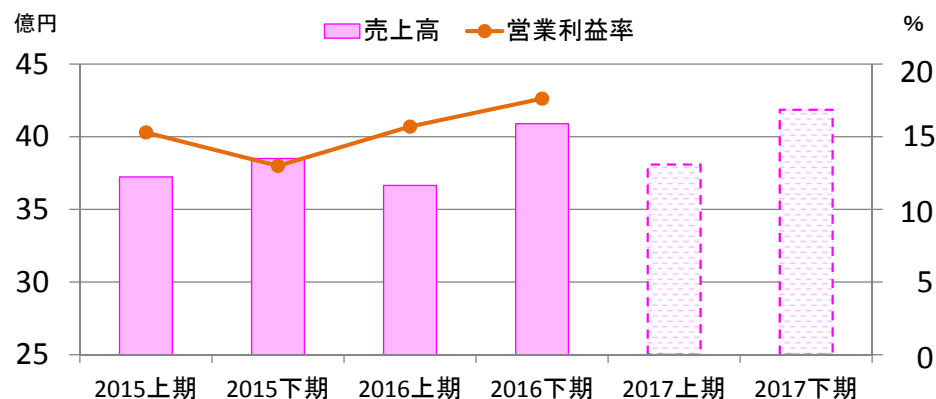
事業方針

先端材料事業

事業展開

・主力製品のシェア拡大	高精細PS材およびArFレジスト用原料の拡販
・次世代表示材料の開発	タッチパネル用絶縁膜材料の用途拡大

実績・予想



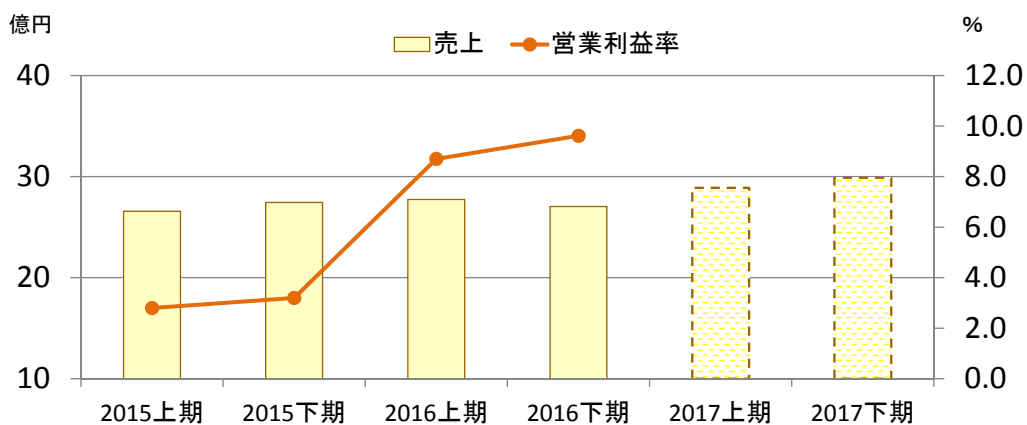
事業方針

第3の事業育成

事業展開

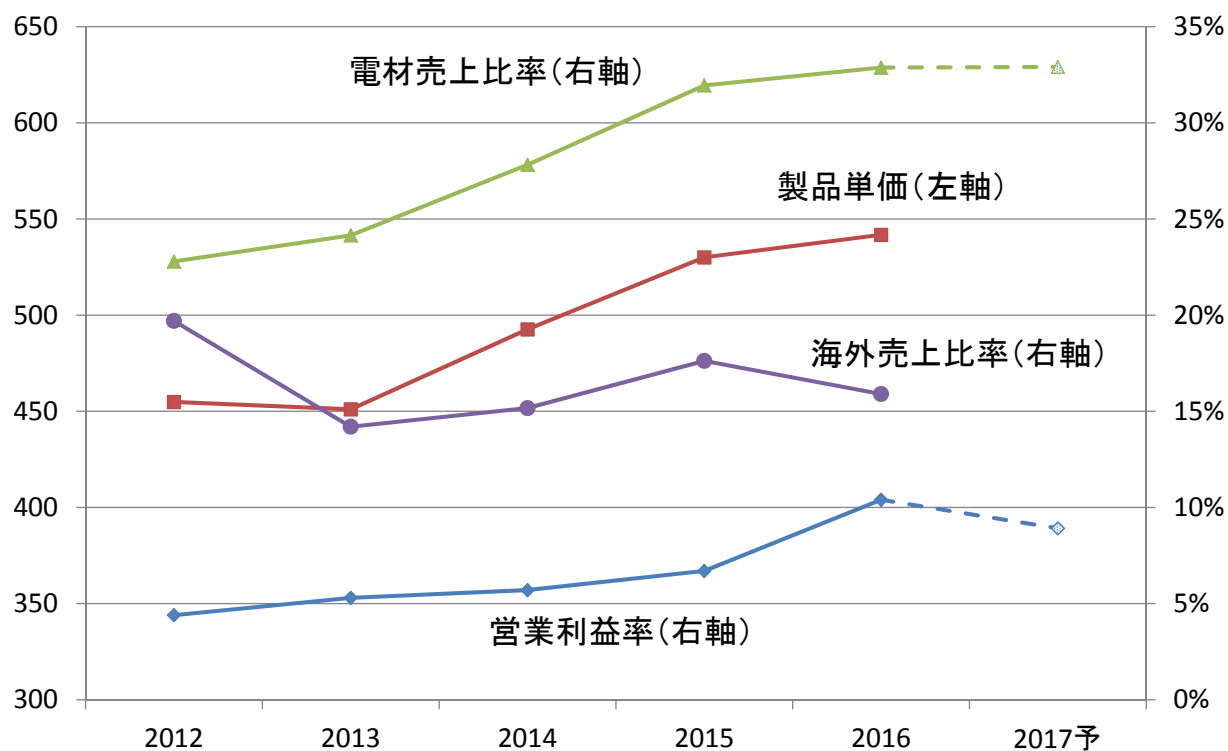
・新規分野の開拓	超親水性コート材の販売計画を見直し
・海外拡販強化	化粧品基剤では高品質化で勝負
・既存製品の合理化と拡販	化粧品基材のプロセス改良 特殊溶剤の拡販(連結子会社:神港有機化学工業株式会社)

実績・予想



業績と合理化の推移

単価(円/kg)





4. 資本政策

資本政策



基本方針

当社は、企業価値の向上を目指し、財務体質の健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを図ってまいります。

配当政策

配当性向30%を重要な指標のひとつとし、支払いに努めます。

自己株式の取得

経営環境の変化に機動的に対応し、株主価値の向上に資する資本政策等を可能とするため、自己株式の取得を行います。

重要経営指標目標

売上高営業利益率10%以上、ROE5%以上を目標にします。
自己資本比率70%前後を維持します。

政策保有株式に関する方針

保有基準を定め、保有理由を明確に開示します。

資金調達(増資等)の方針

健全な財務体質の維持、資本効率の向上、株式価値の希薄化等への十分な配慮と調達コスト・スピード等を考慮し、資金調達を行います。

5. CSR活動

CSR活動

持続可能社会の実現・自然環境との調和

化学物質 = 社会に必要不可欠 = 自然環境との共存発展

技術的な視点

エネルギー・廃棄物の削減	・OYPM活動(全従業員参加の生産保全活動)でエネルギーの効率活用に取り組み ・生産プロセスからの副生油(廃油)を利用するボイラーを開発し運用
環境配慮技術への取り組み	・副反応や廃棄物発生が少ないアクリル酸エステル製造法を工業化
化学物質管理と情報開示	・法令を遵守し管理 ・環境・社会報告書をHPに公開



社会貢献活動

積極的な地域社会活動への参加を実施



クリーンビーチ石川清掃活動参加



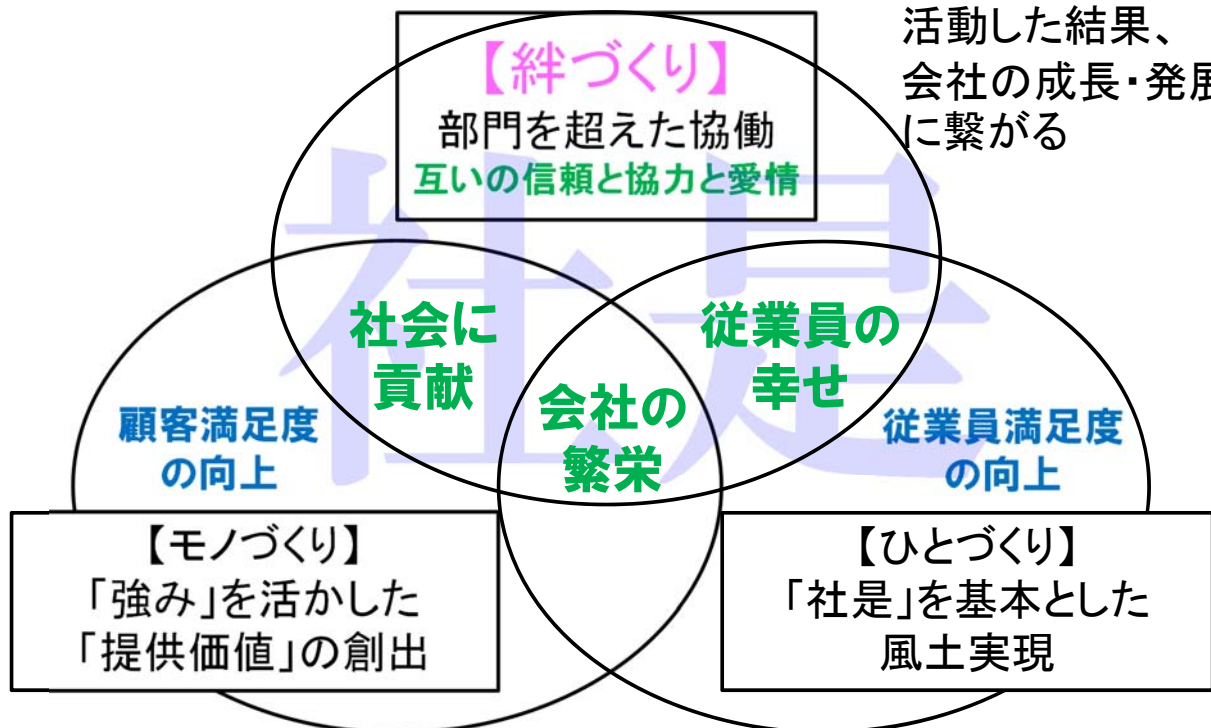
大和川・石川クリーン作戦参加

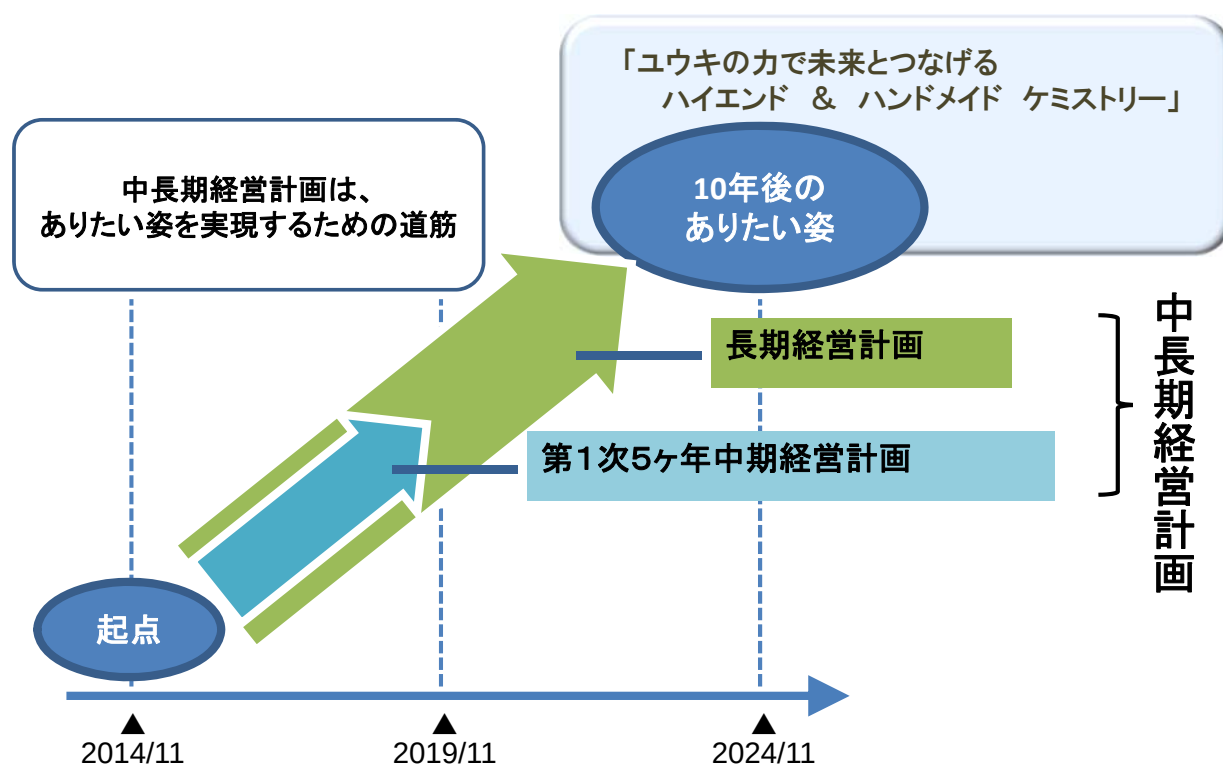


鳥海南工業団地友好会
クリーン作戦参加

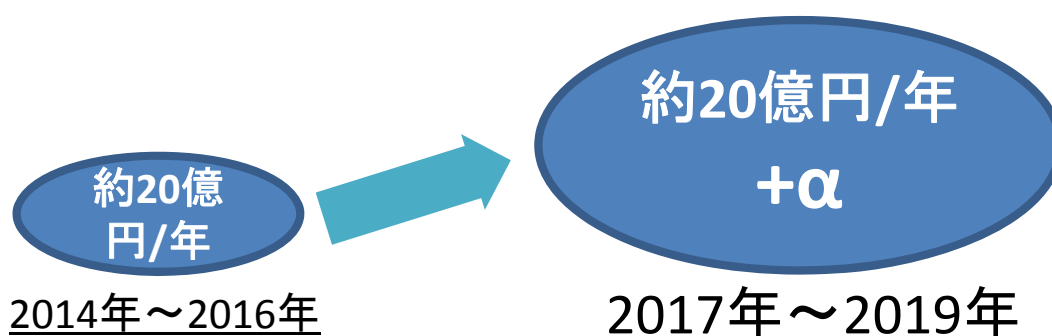
6. 中長期経営計画 Next Stage 10

社是の展開イメージ





- ・海外を含む売上を伸ばしていく成長戦略には効率的かつ集中的な投資が不可欠
→約20億円/年+ α 、設備投資だけでなく国内外問わず、M&A等アライアンスも積極的に行っていく



(金額単位:億円)

	2016年 11月期 2年目実績	2019年 11月期 5年目	2024年 11月期 10年目
売上高	235	270	300以上
海外売上高比率(%)	16	20	30%以上
営業利益	24	22	30以上
営業利益率(%)	10	8	10%以上

トピックス 開発品のご紹介



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

30

伸縮性導電材料

* アクリルエラストマ樹脂とフィラー等の混合物からなるコンポジット材料

- ・特徴 : 柔軟性、伸張性、耐熱性が高い。
伸ばした際の抵抗値変化が大きい(歪センサとして有用)
- ・用途 : ストレッチャブル歪センサ、感圧センサ、人工筋肉 等
- ・ターゲット分野 : ウェアラブル、センサ、アクチュエータ、ロボティクス分野
- ・現状 : フィルム・樹脂としてサンプルワーク中



イメージ図(伸縮性導電ペースト)



イメージ図(伸縮性導電フィルム)

